



荒川区西日暮里2-55-1
国鉄労組東京地方本部
発行責任者 鎌田博一
編集責任者 常盤達雄

No.1776

2014年

11月5日

国労加入を 大胆に訴えよう

一三日に大幅な合理化が提案された。
出札窓口の廃止
代々木・目白・田端・南柏
駅遠隔操作システムの導入
A口を無人化し、本屋口から終日制御
代々木・十条・北赤羽
早朝時間帯を無人化し、遠隔制御
尾久・三河島・南千住・馬橋・北小金・
北松戸・南柏・北柏・天王台・南流山
馬橋・南柏・北柏・天王台・南流山
駅業務委託

合理化と安全・安定輸送を求め、旅客サービス低下に反対するために全力を挙げなければならぬ。その為にも組織強化・拡大に力を入れていこう。東京地方本部は全力をあげていくので、各機関・各組合員の協力をお願いする。

国労東京 議員団総会

二〇一四年度国労東京議員団総会が、九月二〇日に、第六五回定期地方大会が行われた
発明会館において開催された。



東京地本営業協議会 駅遠隔操作システム交流会

東京地本営業協議会は、一〇月八日に第二回駅遠隔操作システム交流会を開催した。

この日は、まず各地区本部・支部ごとに集まったあと、既に駅遠隔操作システムが導入されている職場を見学に行き、その券売機などのシステムを視察し、問題点を当該職場の組合員から出してもらった。

そのうち、八王子地区本部協会は、導入が予定されている国立駅(中央ラインモール管理)に集合し、当該駅の組合員に状況を聞いた。その後、既に導入されている大久保駅に移動し、新橋支部協同と合流。A口が無人化されて遠隔操作されている実態・問題点を組合員に出してもらった。



らの報告や、今日視察してきたの問題点などを出し合った。既に導入されている馬喰町駅から「東口が無人化され、一人で両口見ている。東口から五分に一回くらい呼ばれる。東口で見ていると、呼び出しボタンがわからず、困っている年配者や外国人を多く見かける」、王子駅から「遠隔操作のポスト(乗り越しの切符を入れてもらう)に定期を入れてしまうお客さまがいて、その都度走っていく。また精算機では、モバイルSuicaは対応できない」、大久保駅からは「無人のA口を勝手に出ていく人がいて、他のお客さまから苦情。その時間にA口で見張っていてくれと言うが、そんな要員はいない」などさまざまな問題点が出された。



これから各支社で多くの駅に駅遠隔操作システムの導入が予定されており、その

サービス向上を いうのに 人はおかない



前述のとおり、JR東日本は営業関係施策として、駅遠隔操作システムの導入に伴う早朝時間帯の無人化や窓口閉鎖、ステーションサービスへの委託など、さまざまな合理化施策が計画され、際限の無い大幅な合理化が行われようとしている。そのうち、東京支社からは、九月

また、触車事故などの安全問題をはじめ、あらゆる職場の問題を、日常の点検から職場検証の取組みを強化していきたいと思えます。

連載企画 分会紹介



大宮保線 技術センター 分会

国労大宮保線技術センター分会は、保線技術センター一〇名、東鉄工業大宮出張所(出向)二名、エルダー二名の一五名です。大宮保線区時代の組合員は四名で転入者が多くを占めています。

分会の活動は、分会大会、執行委員会、転入出者の歓迎会、花見、秋の鮎狩、などです。特に鮎狩は、退職者にも声をかけるなど多くの参加者で、烏山で開催しています。今年も近くの温泉宿で一泊し、親睦を深めあつてきました。

年々減少している組合員数に危機感を持ち、国労の最重要課題である組織強化・拡大の取り組みとして、新入社員への組合説明会を行いました。組合員獲得には至っておりませんが、それでも、仕事・遊びなど日常のかかわりから粘り強く取り組んでいきたいと思えます。



各議員からはJRの安全問題が出され、バリアフリーやホームドアなどについて、自治体の支援とJRの安全対策について問題提起がされた。また、踏切の安全対策についても意見が出された。その後、それぞれの日頃の議員活動についても報告・交流が行われた。

来年四月には、統一自治体選挙が行われる。高橋勝議員は青梅市で、青山秀雄市議は昭島市で、河野達男区議は新宿区で選挙を闘い、七月には石名国光市議が白河市で、八月には本池奈美枝市議が柏市で選挙戦となる。国労東京議員団全員の勝利を目指し、闘う事を総会で確認した。組合員の皆さんも、協力をお願いする。

国労東京議員団は、現職八名とOB団員五名の団結で、本年度も国労東京地方本部と連携を強め、活動していく事を確認し、総会は終了した。

国加

迎 労働加入

ジェイアールバス関東

東京支店

自動車支部

52才

平和を求めめる行動に 各地で参加

軍事力によらない平和を訴えよう



九月二五日に、横須賀市ヴェルニ公園において「原子力空母配備撤回を求める九二五神奈川集会」(主催・神奈川平和運動センター・三浦半島地区労)が行われ、一七〇〇人が結集した。国労からも神奈川地区本部の組合員を中心に多くの仲間が参加した。

その中で参加者から「国内の原発が全て停止している今日も、何の制約も無く航行している。原子力の安全神話は無責任」来年には燃料交換などで、同型艦ロナルドレーガンに交代する見込みだが、同時に随伴艦の増強なども予想される。機能強化に反対する」などの発言がされた。また、厚木爆音訴訟の報告なども行われた。その後、デモ行進が行われ、基地前では「ジョージワシントン配備撤回」「基地機能強化反対」などのシュプレヒコールが続いた。

一〇月一七日には、日比谷公会堂において「戦争への道を許さない東京集会」が、戦争をさせない東京一〇〇〇人委員会の主催で開催され、一九〇〇人が結集した。様々な労働組合の仲間とともに、東京地本からも多くの国労組合員が参加した。集会のメインは沖縄国際大学教授(元琉球新聞論説委員長)の前泊博盛さんで、「安倍首相が言う、集団的自衛権で、世界最強の米軍を日本が助ける場面などありえない。イラク問題も、今のイスラム国の状況を見れば、軍事力で軍事力の問題を解決することはできないのが明らか。沖縄はひどい目に会ってきたからこそ、憲法の大事さを知っている。人権や民主主義は、与えられるものではなく、奪い取る物。基本的な権や平和と一緒に勝ち取っていかう」などの話がされ、大きな拍手が起こった。

そのあと、壊憲NO!九六条改悪反対連絡会議・二瓶共同代表や、東京全労協・額瀬議長からも連帯のあいさつがされた。一〇月二二日には、横田基地そばの福生公園において、オスプレイの横田配備阻止・基地の縮小撤去を求める「一〇二二横田集会」が行われ、八王子地区本部から多くの組合員が参加した。



主催者あいさつとして、三多摩平和運動センター・田中議長(国労八王子地区本部委員長)が立ち、続く来賓あいさつでは、社民党三多摩地区本部・高橋地区本部長(青梅市会議員・国労東京議員団長)から「安倍首相は、集団的自衛権の関連法案を国会に出すと言っていたが、来年の統一自治体選挙に影響があるから、選挙後に出すと言っている。であれば、私たちがしなければならぬのは、四月に向け、統一自治体選挙を闘うこと。勝利をし、一人でも多くの仲間と反戦・反基地・反核について訴える」、第九次横田基地公害訴訟原告団・青山副代表(昭島市会議員・国労東京議員団)からは「昨年七月に、米空軍司令官が横田基地にオスプレイを配備すると記者会見。市議会も訴訟団も白紙撤回を求めて、署名活動、政府への要請行動も繰り返し行った。米側の記者会見では「日米両政府で協議中。横田基地に決まる可能性が高い」と話されたが、日本政府は知らぬ存ぜぬを訴す。その間に、全国の自衛隊基地にオスプレイを飛来させ、配備の規制事実化を進めている」などのあいさつを行った。

その後、神奈川平和運動センター・小原事務局長や自治労東京都本部、地元の西多摩平和運動センターからも報告がされ、田中議長の団結がんばろうでデモ行進に移った。デモ行進は横田基地沿いの国道一六号線を、シュプレヒコールを続けながら進み、オスプレイ反対、基地撤去を訴え、福生駅までのコースで行われた。

国会でもまたもや革マル問題
殺人・強盗↓革マル
↓JRR総連・JRR東労組という図式

現在開会中の第一八七回国会(臨時国会)の衆議院予算委員会では、消費税値上げに関連し、政治とカネの問題について様々な議論がされている。その中で、一〇月三〇日に安倍総理大臣と、枝野幸男議員(民主党・元経産大臣・元内閣官房長官)との間で、次のようなやりとりがあった。NHKの国会中継もされていたので、ご覧になった方も多いと思われる。

政治献金の問題についての議論の中で、自民党が野党だった時代のやり取りを、再度取り上げた場面(要旨)である。

安倍総理大臣「殺人や強盗や窃盗や盗聴を行った革マル派活動家がいいます。この革マル派活動家が、主導的な立場に浸透していると見られるJR総連・JR東(労組)。答弁でそういう団体だと認められたのは、枝野議員が大臣をしていた時の内閣でした。その団体から枝野議員は約八〇〇万円の献金を受けていた。これは殺人を行っていた団体でありますから、これはゆゆしき問題ではないですか」

これまでも度々国会で取り上げられてきましたが、今回は総理大臣の見解であり、重いですね。

知らないのは組合員だけ?
いったい、誰のための労働組合なのか!

国労東京新春マラソン大会

皇居1周・2周

2015年1月10日 10:30 開会式

受け付け・桜田門 10:00 ~

参加費: 500円

各地区本部・支部への申し込みを

国 労 東 京 談 話 会

国 法 律 相 談

毎月第二水曜 (2月は18日に変更)

初回無料

要申込

アフラック最新のがん保険、新登場。

通院・入院・抗がん剤・診断一時金

NEW/ 生きるためのがん保険 Days

NEW/ 女性特有のがんにも手厚い 生きるためのがん保険 Days

NEW/ がん検診にがん保険に 生きるためのがん保険 Days+

はじめがタック

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)

アベニール株式会社 TEL 03-3437-6810

〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F FAX 03-3437-6822

(引受保険会社) 「生きる」を創る。アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社) 東京第二法人営業部

〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル17F Tel.03-3344-1429 Fax.03-3344-4036

Affac